

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プロッサムジュニア 大野教室		
○保護者評価実施期間	2026年2月25日		～ 2026年3月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2026年2月25日		～ 2026年3月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さま一人ひとりの発達段階や特性に合わせた療育を行い、遊びや生活の中で基本的な生活習慣やコミュニケーション力が育つよう支援しています。楽しみながら参加できる活動を大切にしている	お子さまの興味や発達段階に合わせて、遊びや制作、運動などさまざまな活動を取り入れています。また、職員同士でお子さまの様子を共有しながら、関わり方や活動内容を工夫している。	制作活動や運動遊び、感覚遊びなどさまざまな経験ができるよう活動の幅を広げていきます。あわせて、職員研修や情報共有を行いながら支援方法を学び合い、よりよい療育につなげていきたい。
2	清潔で安全な生活環境を整え、お子さまたちが落ち着いて安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいる	毎日の清掃や消毒のルールを職員全員で徹底し、お子さまたちが安心して過ごせる環境を維持している。 生活動線や遊びスペースを工夫し、お子さまたちが自由に安全に活動できるよう配慮している。	清潔で安全な生活環境をさらに充実させるため、チェックリストによる点検や記録を丁寧に行うとともに、新しい遊具や教材の安全確認やお子さまへの安全ルールの声かけを工夫し、職員研修も活用して環境づくりの知識と取組を高めていく。
3	送迎時のやり取りや連絡帳などを通して保護者と情報共有を行い、家庭と連携した支援を大切にしていること	送迎時のやり取りや連絡帳を通して、保護者と日々の様子や学びを共有し、家庭と連携した支援を大切にしている。	お子さま一人ひとりの状況や家庭での様子を職員間で共有し、活動や支援に反映させることで、安心して過ごせる環境づくりに努める。 保護者が気軽に相談や意見交換できる環境を整えるとともに、定期的な面談や交流の機会を設け、家庭との連携をより一層強化していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもたちがより多くの経験を積めるよう、活動内容や教材の工夫をさらに充実させていく必要がある	子どもたちの年齢や発達段階、興味関心がそれぞれ異なるため、すべての子どもが楽しみながら参加できる活動内容や教材を十分に取り入れることが難しい場合がある。	季節や子どもたちの興味に合わせたテーマ活動や運動遊びを計画し、楽しく経験を積める環境づくりを行う。 得意・苦手に応じた声かけや教材の提示方法を工夫し、子ども一人ひとりが活動に参加しやすくなるよう支援する。
2	地域の保育所や幼稚園、他事業所との交流の機会が少ないため、今後検討していく必要がある	地域の保育所や幼稚園、他事業所との連携の仕組みが十分に整っていない。	地域の保育所や幼稚園、他事業所との交流の機会を増やすため、交流日程や活動内容を工夫し、少人数や年齢に合わせた参加方法を検討しながら、今後具体的に取り組んでいく。
3	保護者会や交流の場など、保護者同士が情報交換できる機会については、今後検討していく必要がある。	保護者会や交流の場の開催の仕組みや運営経験が十分に整っていない。 情報共有の手段や方法が限られており、保護者同士の交流機会が十分でないこと。	保護者が参加しやすい日程や形式を検討し、少人数やオンラインの活用など柔軟な工夫を行います。また、交流のテーマや内容を明確にして、参加者が気軽に情報交換できる場となるよう工夫し、開催後の振り返りを次回に活かしていく。